



Daiwa LifeNext®

大和ハウスグループ

News Letter

2020年10月27日

報道関係各位

大和ライフネクスト株式会社

集合型研修の見直しで業務効率と教育効果向上へ オンラインを活用したマンション管理員研修を開始

大和ハウスグループの大和ライフネクスト株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:石崎順子)は、集合型中心の研修のあり方を見直し、マンション管理員の入社時研修にオンライン講義を取り入れた全国共通のプログラムにリニューアルしました。研修に要する時間も約2分の1に圧縮し、新人管理員が即戦力として活躍できる体制を確立しました。

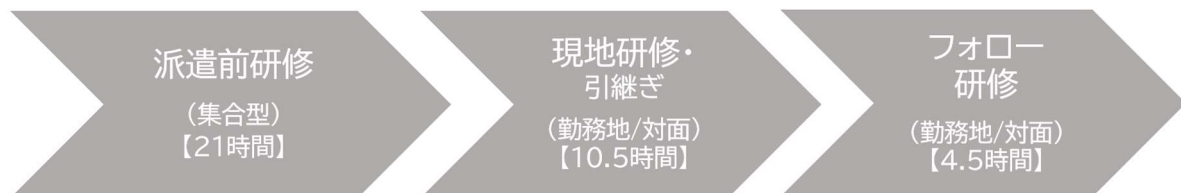
マンション管理業界では管理員の高齢化、人手不足による採用難が大きな課題となっています。退職等により、受託するマンションの専従管理員に欠員が生じた場合にも、不在期間を長期化させないよう、新たに採用した人材の即戦力化が求められています。昨今の新型コロナウイルス感染拡大により、集合型研修の実施が困難な状況下においても、管理員としてのスキルを修得した人材を送り出すために、場所と時間に縛られずに研修を継続できる仕組みの構築が急務となっています。

このたび開始する新研修プログラムでは、座学の講義にオンラインを活用し、場所・時間・情勢に左右されずに研修が実施できることはもちろん、常に最新の状態にアップデートされた教材を配信できる点でも、時間やコストの効率化を実現しています。

オンライン講義による知識習得においては、ポイントを絞る一方、着任予定のマンションの特性を学ぶために現地研修を充実させ、より実践的なプログラムに再構築。教育効果の向上も図りました。また、双方向でコミュニケーションを取りながら実施することで、短時間ながらも、受講生の不安を取り除き、着任へのモチベーションアップを図っています。

今後は、現地に着任した管理員がウェアラブルカメラを装着し、講師が遠隔で指導や現場支援を行える仕組みを整備するなど、ITを活用したさらなる研修品質の向上と生産性向上を目指します。

<旧研修プログラム>



<新研修プログラム>



新研修プログラム実施による効果

- オンラインを活用することで、場所を選ばず研修実施が可能になりました。新型コロナウイルス感染拡大や災害発生時など、集合型の研修実施ができない状況下でも、研修実施および現場サービスの提供を継続できます。
- 時間をかけて広範囲の知識を習得するのではなく、勤務するマンションの仕様に合わせて、基本的な技能や知識を習得できるオーダーメイド研修が可能です。新人管理員がより研修内容、現場業務に集中できるようになりました。
- 研修日数の短縮により入社後、早期の現地着任が可能になりました。

以上